

# JIS

軟質発泡材料－物理特性－  
第 2 部：硬さ及び圧縮応力－  
ひずみ特性の求め方

JIS K 6400-2 : 2012

(JRMA/JSA)

平成 24 年 7 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	土 肥 義 治	独立行政法人理化学研究所
(委員)	穴 澤 秀 治	一般財団法人バイオインダストリー協会
	井 上 進	一般社団法人日本化学工業協会
	今 井 勇	日本ゴム工業会 (株式会社ブリヂストン)
	植 田 新 二	一般財団法人化学物質評価研究機構
	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
	岡 崎 雅 之	公益社団法人自動車技術会 (株式会社本田技術研究所)
	香 山 茂	一般財団法人化学研究評価機構
	河 田 崇	独立行政法人住宅金融支援機構
	佐 藤 浩 昭	独立行政法人産業技術総合研究所
	高 橋 俊 哉	社団法人日本塗料工業会
	田 和 健 次	石油連盟
	松 永 孝 治	日本プラスチック工業連盟
	松 永 直 樹	拓殖大学
	森 川 淳 子	東京工業大学

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 16.3.20 改正：平成 24.7.20

官 報 公 示：平成 24.7.20

原 案 作 成 者：日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

一般財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 土肥 義治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験の種類	2
5 試験の一般条件	2
5.1 試験片の採取方法	2
5.2 試験片の状態調節	2
5.3 試験場所の標準状態	2
5.4 試験片の取扱い	3
6 硬さ試験	3
6.1 試験の種類	3
6.2 試験装置	3
6.3 試験片	3
6.4 A 法 (40 %定圧縮して 30 秒後の力を求める方法)	3
6.5 B 法 (25 %圧縮して 30 秒後, 40 %圧縮して 30 秒後, 65 %圧縮して 30 秒後の力を 各々連続して求める方法)	4
6.6 C 法 (40 %定圧縮したときの力を求める方法)	4
6.7 D 法 (25 %定圧縮して 20 秒後の力を求める方法)	4
6.8 E 法 (圧縮たわみ係数及びヒステリシスロス率を求める方法)	4
6.9 試験報告書	5
7 圧縮応力-ひずみ特性	6
7.1 試験の種類	6
7.2 A-1 法	6
7.3 A-2 法	7
7.4 試験報告書	8
附属書 A (参考) 硬さ試験方法の比較表及び代表曲線の例	9
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	12
解 説	14

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ゴム工業会（JRMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS K 6400-2:2004** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**JIS K 6400** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS K 6400-1** 第 1 部：通則

**JIS K 6400-2** 第 2 部：硬さ及び圧縮応力－ひずみ特性の求め方

**JIS K 6400-3** 第 3 部：反発弾性の求め方

**JIS K 6400-4** 第 4 部：圧縮残留ひずみ及び繰返し圧縮残留ひずみ

**JIS K 6400-5** 第 5 部：引張強さ、伸び及び引裂強さの求め方

**JIS K 6400-6** 第 6 部：燃焼性

**JIS K 6400-7** 第 7 部：通気性

# 軟質発泡材料—物理特性—

## 第2部：硬さ及び圧縮応力—ひずみ特性の求め方

### Flexible cellular polymeric materials—Physical properties— Part 2: Determination of hardness (indentation technique) and stress-strain characteristics in compression

#### 序文

この規格は、2008年に第4版として発行されたISO 2439、1986年に第2版として発行されたISO 3386-1及び1997年に第2版として発行されたISO 3386-2を基とし、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

#### 1 適用範囲

この規格は、軟質発泡材料の物理特性のうち、硬さ及び圧縮応力—ひずみ特性の求め方について規定する。硬さの求め方については、連続気泡の軟質ポリウレタンフォーム、軟質ラテックスフォーム及び軟質ポリ塩化ビニルフォームにだけ適用する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO 2439:2008**, Flexible cellular polymeric materials—Determination of hardness (indentation technique)

**ISO 3386-1:1986**, Polymeric materials, cellular flexible—Determination of stress-strain characteristics in compression—Part 1: Low-density materials

**ISO 3386-2:1997**, Flexible cellular polymeric materials—Determination of stress-strain characteristics in compression—Part 2: High-density materials (全体評価：MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

**警告** この規格の利用者は、通常の試験室での作業に精通している者とする。この規格は、その使用に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置をとらなければならない。

#### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS K 6200** ゴム—用語